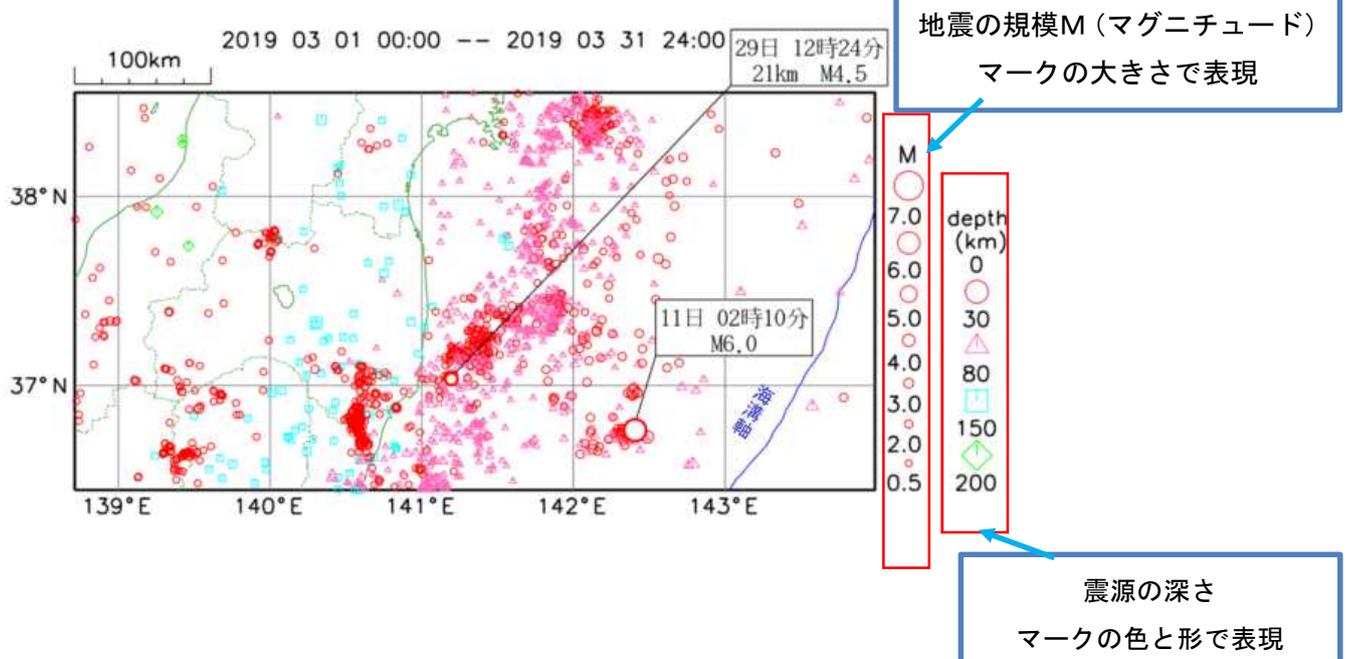


「福島県月間地震概況」利用の手引き

毎月1回発行している地震概況は、福島県とその周辺の地震活動状況を震央分布図、断面図に示すほか、期間内に観測した地震についてグラフや表にまとめた資料です。防災メモでは、地震や火山、津波に関する簡単な知識の解説のほか、気象庁が行っている地震や火山、津波に関する業務を紹介しています。

1. 震央分布図

地震発生の際に、地球内部における岩石の破壊の開始点となった地点を「震源」、破壊された領域全体を「震源域」と呼び、震源の真上にあたる地点が「震央」となります。この震央を地図上に表したものを「震央分布図」と呼びます。太平洋沖の「海溝軸」と記載されている青い曲線は、日本海溝を表しています。



2. 地震概況

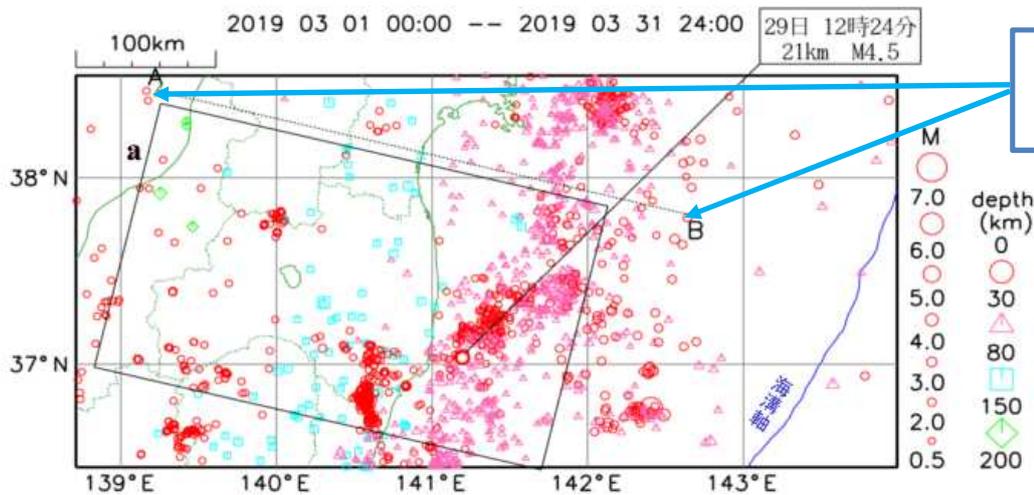
その月に注目した地震について、震源の深さ、マグニチュードや各地の震度等の概略を記載しています。

3. 断面図

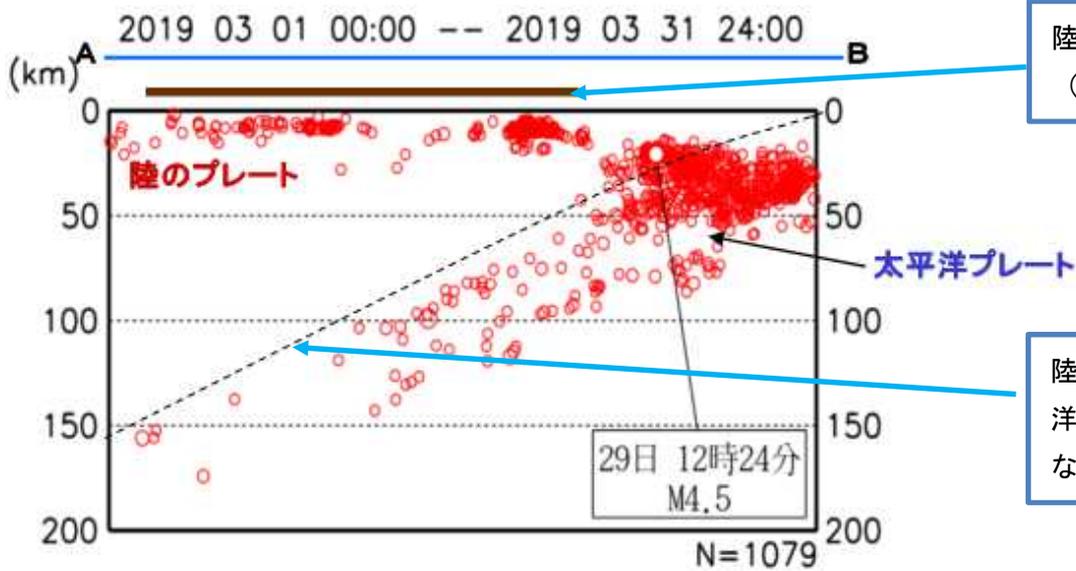
震央分布図上に設定した領域 a 内で発生した地震を、ある二つの点を結ぶ線 (A-B) に沿った鉛直面に地震の位置を投影し、発生した深さの分布を表示したものが断面図です。

本活動図では、震源の深さ精度がある領域を領域 a と設定し断面図を作成しています。

※一般的に陸地から遠い地震ほど、震源の深さ精度が悪くなる傾向がありますのでご注意ください。



A-Bの線に沿った断面図を表示



陸地の大まかな位置 (茶色直線)

陸のプレートと太平洋プレートの大まかな境界 (黒破線)

4. 福島県で震度1以上を観測した地震の表

福島県内の震度観測点で、震度1以上を観測した地震の一覧表です。

地震が発生した時刻、震央地名、緯度・経度、深さ、マグニチュード、観測された震度と観測地点名を表にしています。

5. 防災メモ

地震や津波、火山や防災に関する知識、気象庁の地震津波火山業務などについて解説・紹介しています。今後も分かりやすい資料の提供を心掛けていきます。